

問 防犯・防災体制への取り組みは十分か 答 住民参加の安心・安全なまちづくりに努めます



藤沼 喜義 議員

問 町内の犯罪件数とそれに対する警察・町民の対応は。

町長 茨城県警では3カ年の再編整備計画に基づき駐在所の大型化や体制強化を進めています。当町の両駐在所は現行のまま維持される予定です。防犯体制については、警察署と地域ボランティア並びに関係団体と連携を密にし、効果の高い防犯活動を実施してまいります。

総務課長 犯罪の発生件数は平成21年度129件です。人口10000人当たりは県平均14・3件に対し当町は13・6件です。その8割は窃盗犯です。防犯活動としては、関係団体と役場職員が協力し、下校時の防犯パトロールを実施、またセーフティマイタウンチーム五霞班と警察署で毎月1回町内夜間パトロールを実施しております。今後、特に夜間の警力の強化を警察署に要望してまいります。

問 防災体制の整備は十分か。

町長 火災・水害に対しては、常備消防と消防団

が対応しております。全国的に消防団員の確保が問題となっており、特に水防には大きな任務を担っておりますので、町民の防災意識の高揚、防火対策の充実と共に充実をはかってまいります。また、住民参加の防災訓練を毎年11月最終日曜日に五霞町防災の日と位置づけて、順次行政区で実

施しております。

問 常備消防の再編計画はどうか。

企画財政課長 広域消防事務組合は昭和49年4月に11市町村で発足し、現在7市町で構成されております。県の再編計画が検討されていると共に、当組合でも再配置計画や負担金なども検討がなさ

れております。

問 消防団の支援体制はどうか。

総務課長 現在団長以下107名体制で活動をしておりますが、支援体制といたしまして運営補助金147万円を支出しています。また、団活動を側面から支援する形で消防協力金が、1戸あたり

問 租税等の滞納状況と対応はどうか 答 増加傾向にあるが滞納処理に努めています

問 町税の滞納状況とその対策は。

町長 平成21年度末の滞納額は1億5212万円です。ここ数年未納額が増加傾向にあります。

対応としては、税務担当課を中心に関係各課で構成する町税等収納連絡会を設置して収納事務に努めています。また、茨城県租税債権管理機構に毎年10件ほど委託しております。

町民税務課長 町税滞納の内訳は個人県民税37

41万円・法人町民税132万円・固定資産税4164万円・軽自動車税169万円・国保税70

05万円となっております。自主財源の確保と滞納者の公平性を守るため

に、嘱託徴収員による戸別訪問、あるいは電話や夜間訪問などによる督促を実施しております。収納額は平成21年度で301万円です。また、茨城

県租税債権管理機構での回収金額は1279万円

で回収率58%という実績になっております。

問 水道料金滞納状況と対応は。

上下水道課長 21年度末では222件843万円となり増加傾向にあります。督促状や戸別訪問などを行い、さらに4ヶ月以上では給水停止の措置もとっています。

問 学校給食費の滞納状況と対応は。

教育次長 21年度末で227万円です。現在、口座振替で納付となっておりますが、保護者あてに毎月文書または電話による督促をしております。

問 学校給食費の無料化については。

町長 現在その考えはありません。しかし、給食制度について根本的に議論する余地はあります。



防災の日の消火訓練

300円の拠出をもって支給されておりますが、この金額はただいま検討中です。